

## 「避難に関する特別世論調査」の概要

平成 22 年 2 月 25 日  
内閣府政府広報室

調査概要	調査対象	全国 20 歳以上の者 3,000 人
	有効回収数(率)	1,916 人 (63.9%)
	調査期間	平成 22 年 1 月 14 日～1 月 24 日
	調査方法	調査員による個別面接聴取
調査目的	避難に対する国民の意識を調査し、今後の施策の参考とする。	
調査項目	1 局地的大雨や大型台風等による被害への認識 2 避難の際に参考とする情報 3 望ましい避難勧告等の伝達手段 4 避難行動を開始するタイミング 5 避難にかかる時間 6 今後充実してほしい対策	
調査実績	避難情報に関する特別世論調査（平成 17 年 2 月）	

<お願い>

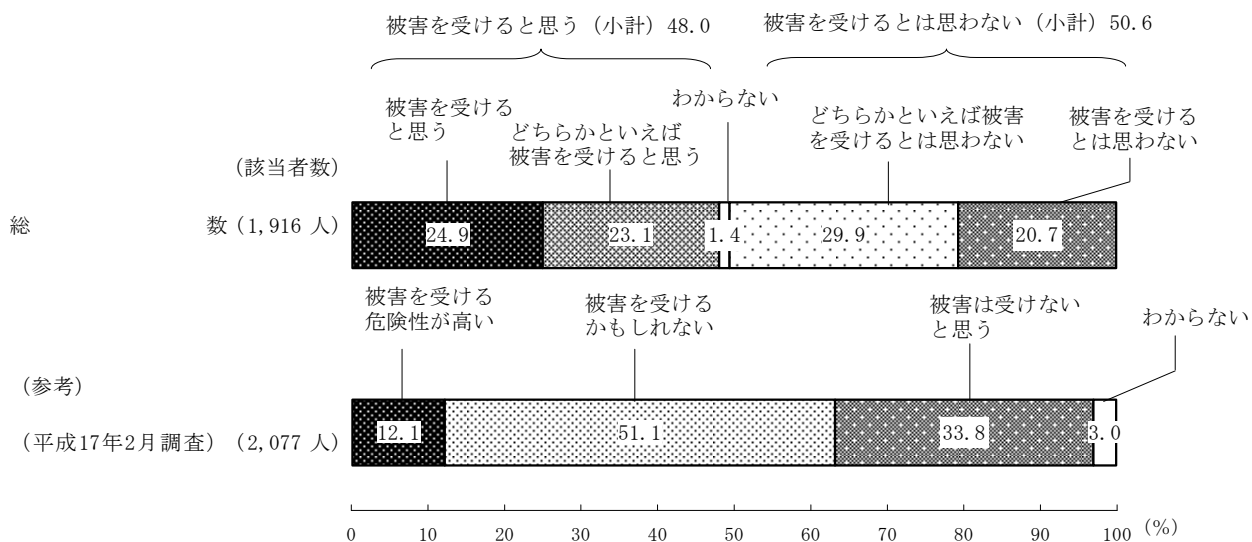
本資料の内容を引用された場合、その掲載部分の写しを  
下記宛にご送付ください。

内閣府大臣官房政府広報室  
世論調査担当

〒100-8914 東京都千代田区永田町 1-6-1  
電話 03(3581)0070  
FAX 03(3580)1186

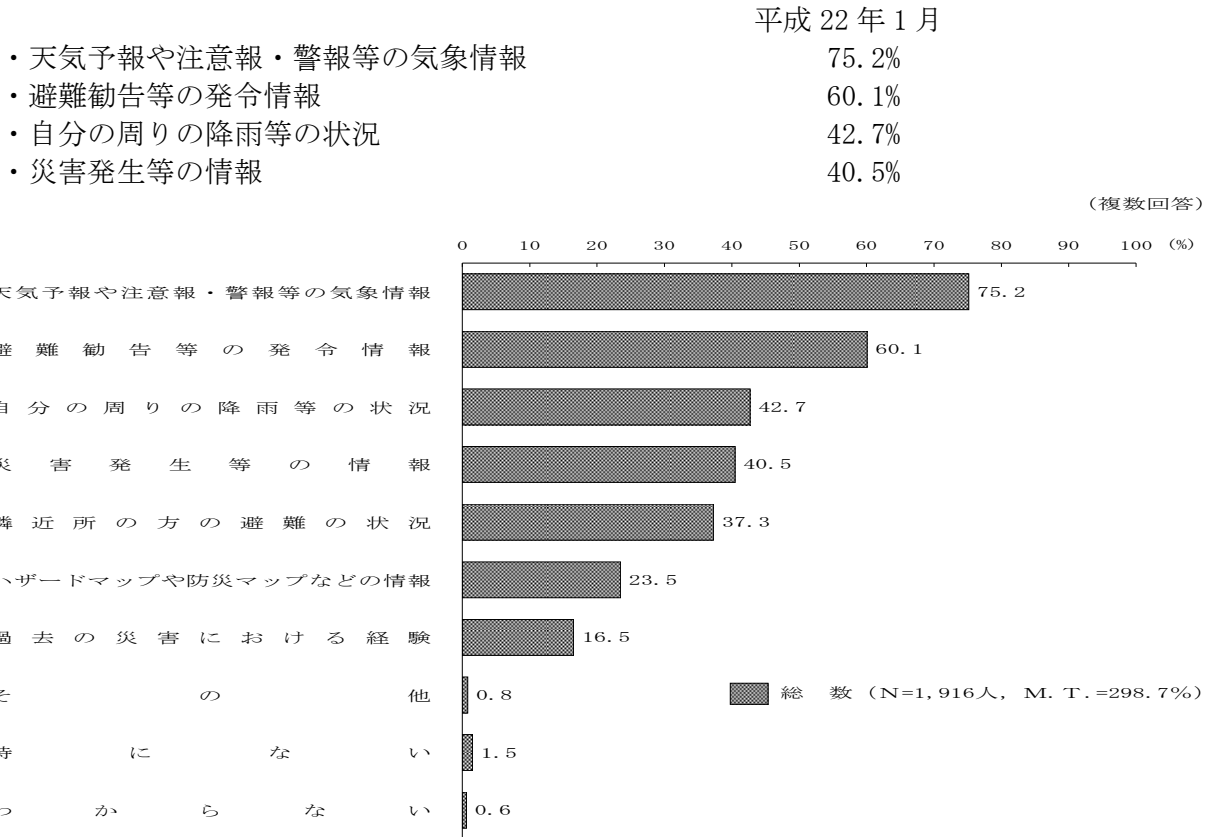
# 1 局地的大雨や大型台風等による被害への認識

	平成 22 年 1 月
・被害を受けると思う（小計）	48.0%
・被害を受けると思う	24.9%
・どちらかといえば被害を受けると思う	23.1%
・被害を受けるとは思わない（小計）	50.6%
・どちらかといえば被害を受けるとは思わない	29.9%
・被害を受けるとは思わない	20.7%

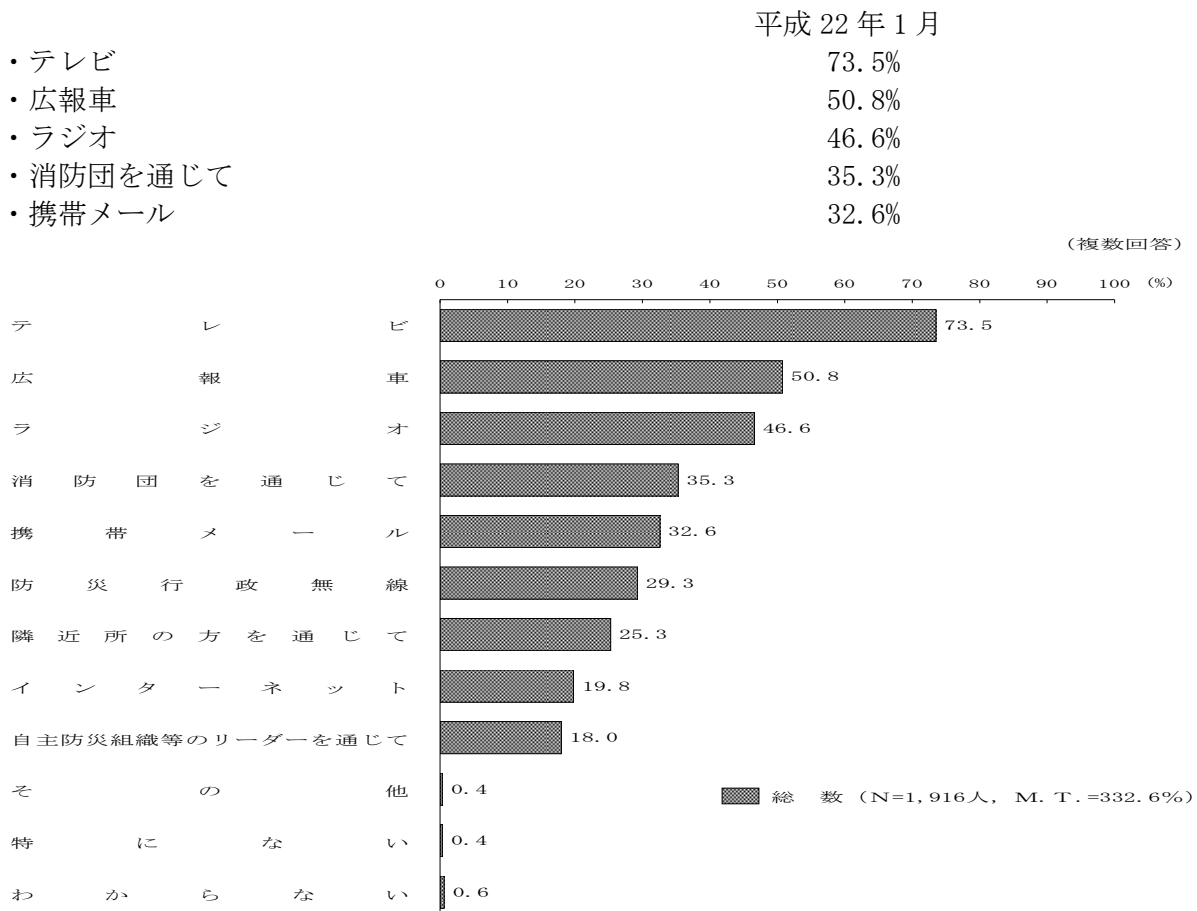


(注) 平成17年2月調査では、「あなたのお住まいの地域で、集中豪雨や大型台風等により、河川の破堤、高潮、土砂災害等の災害が発生した場合、あなたが被害を受けると思いますか。この中から1つだけお答えください。」と聞いている。

## 2 避難の際に参考とする情報（複数回答、上位4項目）



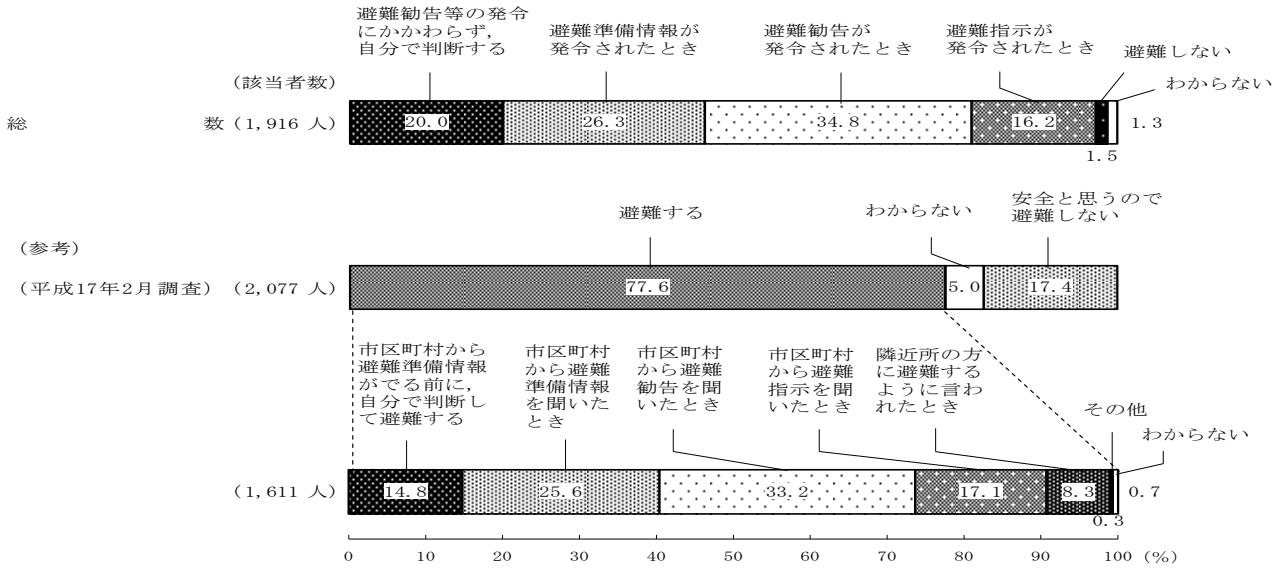
## 3 望ましい避難勧告等の伝達手段（複数回答、上位5項目）



## 4 避難行動を開始するタイミング

平成 22 年 1 月

・避難勧告等の発令にかかわらず、自分で判断する	20.0%
・避難準備情報が発令されたとき	26.3%
・避難勧告が発令されたとき	34.8%
・避難指示が発令されたとき	16.2%
・避難しない	1.5%

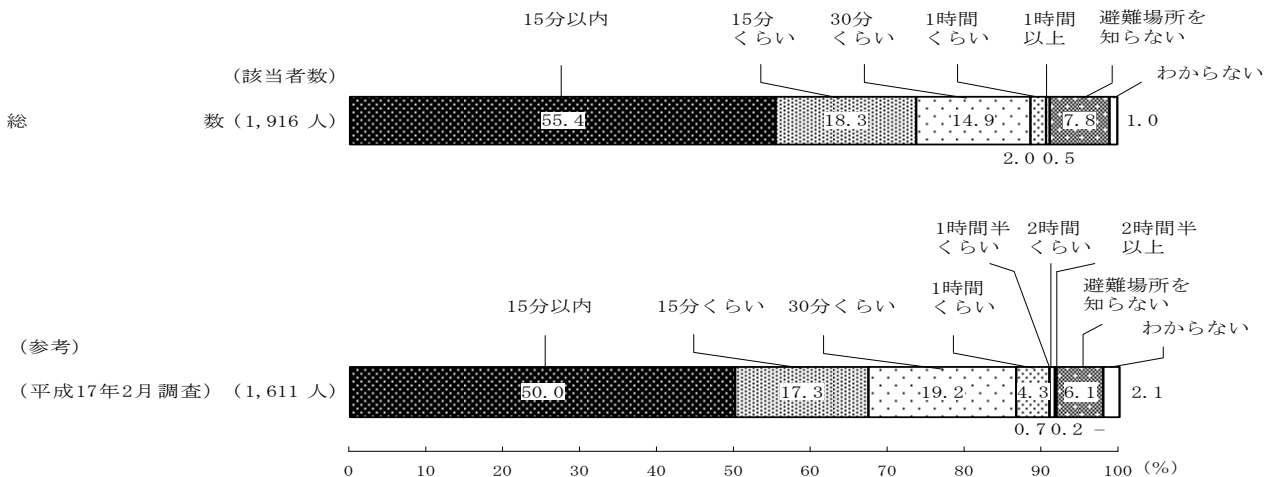


(注1) 平成17年2月調査では、「集中豪雨や大型台風等の際に、あなたは在宅し、又は自宅近辺にいたときに避難情報を聞いた場合、あなたは避難しますか。この中から1つだけお答えください。」と聞いたとき、「避難する」と回答した人(77.6%)に対して、「では、あなたはどのような状況になったら避難行動を開始すると思いますか。この中から1つだけお答えください。」と聞いている。  
 (注2) 平成17年2月調査では、「避難準備情報」・「避難勧告」・「避難指示」の総称を「避難情報」としている。

## 5 避難にかかる時間

平成 22 年 1 月

・15分以内	55.4%
・15分くらい	18.3%
・30分くらい	14.9%
・1時間くらい	2.0%
・1時間以上	0.5%
・避難場所を知らない	7.8%

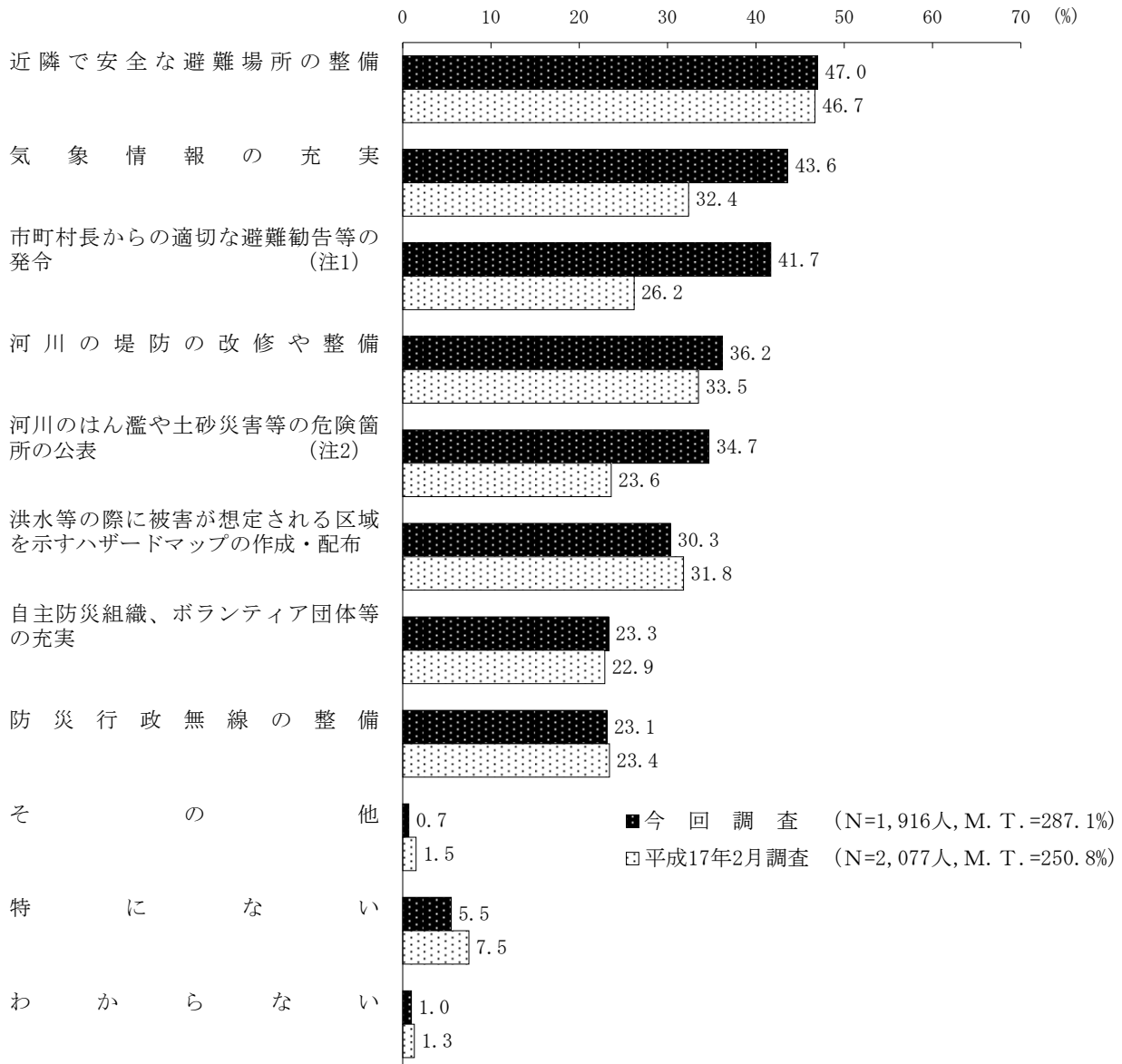


(注) 平成17年2月調査では、「集中豪雨や大型台風等の際に、あなたは在宅し、又は自宅近辺にいたときに避難情報を聞いた場合、あなたは避難しますか。この中から1つだけお答えください。」と聞いたとき、「避難する」と回答した人(77.6%)に対して、「あなたは、豪雨の中等、実際に避難する状況で、自宅から避難場所にとどり着くまでにどれ位の時間が必要であると思いますか。この中から1つだけお答えください。」と聞いている。

## 6 今後充実して欲しい対策（複数回答、上位5項目）

	平成17年2月		平成22年1月
・近隣で安全な避難場所の整備	46.7%	→	47.0%
・気象情報の充実	32.4%	→	43.6%(増)
・市町村長からの適切な避難勧告等の発令	26.2%	→	41.7%(増)
・河川の堤防の改修や整備	33.5%	→	36.2%
・河川のはん濫や土砂災害等の危険箇所の公表	23.6%	→	34.7%(増)

(複数回答)



(注1) 平成17年2月調査では、「避難勧告等を市区町村長が発令するための判断基準の設定」となっている。

(注2) 平成17年2月調査では、「堤防等の危険箇所の公表」となっている。

## 避難に関する特別世論調査

調査時期：平成22年1月14日～1月24日  
調査対象：全国20歳以上の者3,000人  
有効回収数(率)：1,916人(63.9%)

話は変わりますが、次に時事問題として、「避難」についてお伺いします。

【資料1】を提示して、調査対象者によく読んでもらってから、以下の質問を行う)

### 【資料1】

政府では、平成21年の大雨災害を踏まえ、災害の把握、情報伝達及び適切な避難のあり方に関する課題の整理と対応策について有識者、関係省庁からなる検討会において検討しています。

また、平成17年3月に提示した「避難勧告等の判断伝達マニュアル作成ガイドライン」に関して、最近の災害に対応できるものとなっているかの検証と市町村への浸透方策についても検討しています。「避難勧告等」とは、「避難準備情報」、「避難勧告」、「避難指示」の3種類の総称です。

それぞれの種類の概ねの趣旨は次のとおりです。

「避難準備情報」：災害の発生する可能性が高まった状況において、高齢者等の避難に時間を要する方、健康者でも避難所までの距離が遠い方などに避難を促す情報。

「避難勧告」：災害が発生する可能性が明らかに高まった状況において、通常の方に避難の開始を求めるもの。

「避難指示」：災害が発生する危険性が非常に高くなった状況等において、未だ避難していない住民は直ちに避難し、避難するいとまがない場合は生命を守る最低限の行動を指示するもの。

政府では、今後、国民のみなさまの意見を参考にしながら、適切な避難のあり方等についての検討を進めていきます。

なお、「局地的大雨」とは、急に強く降り、数十分の短時間に狭い範囲に数十mm程度の雨量をもたらす雨のことで、いわゆるゲリラ豪雨のことです。

Q1【回答票15】あなたのお住まいの地域で、局地的大雨や大型台風等により、河川のはん<sup>らん</sup>濫、高潮<sup>たかしお</sup>、土砂災害等の災害が発生した場合、あなた自身が被害を受けると思われますか。この中から1つだけお答えください。

- (24.9) (ア) 被害を受けると思う
- (23.1) (イ) どちらかといえば被害を受けると思う
- (29.9) (ウ) どちらかといえば被害を受けるとは思わない
- (20.7) (エ) 被害を受けるとは思わない
- ( 1.4)        わからない

Q 2〔回答票 16〕局地的大雨や大型台風等の際に、あなたが避難するかどうかを検討する場合、どのような情報を参考にしますか。この中からいくつでもあげてください。(M. A.)

- (23. 5) (ア) ハザードマップや防災マップなどの情報
- (16. 5) (イ) 過去の災害における経験
- (75. 2) (ウ) 天気予報や注意報・警報等の気象情報
- (60. 1) (エ) 避難勧告等の発令情報
- (40. 5) (オ) 災害発生等の情報
- (42. 7) (カ) 自分の周りの降雨等の状況
- (37. 3) (キ) 隣近所の方の避難の状況
- ( 0. 8) その他 ( )
- ( 1. 5) 特にない
- ( 0. 6) わからない

(M.T.=298.7)

---

Q 3〔回答票 17〕局地的大雨や大型台風等の際に、避難勧告等が発令された場合、どのような手段で伝達してほしいですか。この中からいくつでもあげてください。(M. A.)

- (29. 3) (ア) 防災行政無線
- (32. 6) (イ) 携帯メール
- (50. 8) (ウ) 広報車
- (73. 5) (エ) テレビ
- (46. 6) (オ) ラジオ
- (19. 8) (カ) インターネット
- (18. 0) (キ) 自主防災組織等のリーダーを通じて
- (35. 3) (ク) 消防団を通じて
- (25. 3) (ケ) 隣近所の方を通じて(上記(キ)、(ク)を除く)
- ( 0. 4) その他 ( )
- ( 0. 4) 特にない
- ( 0. 6) わからない

(M.T.=332.6)

---

Q 4〔回答票 18〕局地的大雨や大型台風等の際に、あなたはどの時点で避難行動を開始しますか。この中から1つだけお答えください。

- (20. 0) (ア) 避難勧告等の発令にかかわらず、自分で判断する
- (26. 3) (イ) 避難準備情報が発令されたとき
- (34. 8) (ウ) 避難勧告が発令されたとき
- (16. 2) (エ) 避難指示が発令されたとき
- ( 1. 5) (オ) 避難しない
- ( 1. 3) わからない

Q 5〔回答票 19〕局地的大雨や大型台風等の際に、自宅から避難場所にたどり着くまでにどれ位の時間が必要ですか。この中から1つだけお答えください。

- (55.4) (ア) 15分以内
- (18.3) (イ) 15分くらい
- (14.9) (ウ) 30分くらい
- (2.0) (エ) 1時間くらい
- (0.5) (オ) 1時間以上
- (7.8) (カ) 避難場所を知らない
- (1.0) わからない

---

Q 6〔回答票 20〕今後、充実してほしい対策としては、どのようなものがありますか。  
この中からいくつでもあげてください。(M.A.)

- (36.2) (ア) 河川の堤防の改修や整備
- (23.1) (イ) 防災行政無線の整備
- (41.7) (ウ) 市町村長からの適切な避難勧告等の発令
- (30.3) (エ) 洪水等の際に被害が想定される区域を示すハザードマップの作成・配布
- (47.0) (オ) 近隣で安全な避難場所の整備
- (23.3) (カ) 自主防災組織、ボランティア団体等の充実
- (34.7) (キ) 河川のはん<sup>らん</sup>濫や土砂災害等の危険箇所の公表
- (43.6) (ク) 気象情報の充実
- (0.7) その他 ( )
- (5.5) 特にない
- (1.0) わからない

(M.T.=287.1)